

士幌町



士幌高等学校 環境専攻班のメンバー

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体 北海道士幌高等学校 環境専攻班 【士幌町】

「カシワ林を防風林に」 有益性研究

はじめは？

開拓とともにほ場が拡大され、原生林や天然のカシワ林が次第に伐採されてきました。私たちは、授業から持続可能な開発目標を学ぶことで、地域環境の重要性を確認するとともに、地域経済（農業）と環境そして文化の3つの調和を意識した活動を行っています。2017年からの町内全域の植生調査を実施し、町木であるカシワは、士幌町の面積に対して0.95%しか残されていないことが分かり、貴重な存在だということが分かりました。今年度は、調査データを防風林の研究を生かし、地域課題である防風林についてカシワの有益性の研究を開始しました。

おもな活動

○活動1 化学性を探る活動 防風林の影響によって農作物が減収するという課題から、防風林の落葉が、圃場作物へ何らかの影響があると仮説を立て、樹種の違いによる生育試験・発芽試験を行いました。
○活動2 物理性を探る活動 大型農業機械の発展により農作業の支障となるため、防風林は伐採されたままの状態です。カシワ林を防風林として活用することで、地域の原風景を取り戻せるのではと仮説を立て、風速調査などを実施しました。
○活動3 生物性を探る活動 持続可能な農業を探るという課題から、樹種の違いが農作物に生物的效果があるのではと仮説を立て、防風林の昆虫相調査を実施しました。標本作製から昆虫を同定し、まとめました。

ここが自慢

【持続可能な農業へ】

化学性・物理性・生物性を探る活動により各分野からカシワの有用性を示すことができました。

活動について農業研究機構や林業試験場、帯広百年記念館からアドバイスをいただき、これらの活動が持続可能な農業へと繋がる可能性があることがわかりました。

カシワによる自然豊かで持続可能な社会が、次世代へ受け継がれるため、これからも活動を続けます。



昆虫調査実施中

連絡先

代表者名：校長 赤穂 悦生／設立：2016年／会員：10名

住所：河東郡士幌町字上音更21番地15

電話番号：01564-5-3121

F A X：05164-5-4130

E-mail：

U R L：<http://www.shihoro-highschool.com>